

令和5年10月25日
西日本高速道路株式会社
西日本高速道路サービス・ホールディングス株式会社

本州と九州の架け橋、E2A 関門自動車道が全線開通して50周年を迎えます ～ 壇之浦PA(下り線)で記念イベント開催 ～

NEXCO西日本九州支社(福岡市博多区、支社長:加治 英希)は、2023年11月14日(火曜)にE2A 関門自動車道が全線開通して50周年を迎えるにあたり、関門自動車道が果たしてきた役割を振り返り、整備効果として取りまとめましたので、お知らせいたします。

また、同支社と西日本高速道路サービス・ホールディングス株式会社九州支社(福岡市博多区、支社長:平賀 篤)で、全線開通50周年を記念したイベントを実施しますので、E2A 関門自動車道をご利用の皆様のご参加をお待ちしております。

1. 全線開通50周年の振り返り(整備効果)

E2A 関門自動車道は、1958年の関門トンネル開通を皮切りにバイパス建設促進の機運が高まり、1968年に着工した関門自動車道は、1973年に全線開通となりました。

E2A 関門自動車道は、E2A中国自動車道やE3九州自動車道と一体となって、企業立地件数の増加や物流の向上、観光動向の変化などの開通効果を生み出し、沿線地域の経済・暮らしを支えています。

【開通効果概要】

○交通動向の変化(交通量と地域間交流)

利用交通量は開通から50年間で約4倍に増加(1973年比較)
大型車利用が多く、本州と九州を結ぶ貨物輸送を支援している

○関門自動車道の整備による経済波及効果

関門自動車道の整備による経済波及効果は、50年間で約5.6兆円

○地域生産活動の変化と流通利便性の向上

山口県発福岡県着の自動車による工業品輸送量は、50年で約8.5倍に増加(1970年比較)
九州発の自動車による農水産品輸送量は50年間で約2.5倍に増加(1970年比較)

○生活圏の拡大

福岡と本州・四国を結ぶ高速バス路線の利用者数は増加傾向にある
中でも下関から福岡を結ぶバスは多くの人に利用されている

○地域観光の活性化

関門橋は山口県・福岡県を代表する観光資源の一つとなっている
下関市への観光客数は増加傾向にあり、中でも約5割が九州から訪れている

○海峡を越えた救急救命体制の拡大

救急救命の緊急時には、海峡を越えて患者を搬送するなど地域の医療を支えている

2. 記念イベントの開催

地域の皆さまへの感謝を込めて、2023年11月12日(日曜)に壇之浦PA(下り線)において、関門橋ライトアップ点灯式や整備効果パネル展示などをはじめとした記念イベント※を実施します。

日時	場所	内容
2023年11月12日(日曜) 10:30~18:30予定	壇之浦PA(下り線) 展望デッキ特設会場	・関門橋ライトアップ点灯式、平家太鼓等の記念イベント開催 ・整備効果パネルおよび関門メモリアルフォトコンテスト 入選作品の展示など

※詳細は公式ホームページでお知らせします

3. 50周年記念グッズの配布

関門橋開通50周年のロゴマークを用いたミニトートバック、関門橋の50周年と箸をかけあわせたグッズなどを制作しました。イベントで限定配布します。



関門橋開通 50 周年ロゴマーク

山口県下関市と福岡県北九州市をつなぐ関門橋と日本遺産構成文化財に、地域の皆さまへの感謝の気持ちを含めて50周年を迎えたことを表現しました。

ポスター、記念グッズ等のキャンペーン広報媒体で使用します。



ミニトートバック※イメージ



国産ひのき箸(名入れ)※イメージ

ネットワーク整備の変遷

～ 関門海峡をひとまたぎ つながる九州と本州 ～

- 関門海峡を結ぶ世界初の海底道路トンネルである関門トンネルが1958年(昭和33年) 開通しましたが、交通量の増加に伴い、バイパス建設促進の機運が高まりました。
- 1968年(昭和43年)に着工した関門自動車道は、1973年(昭和48年)に開通しました。
- 2023年(令和5年)11月14日に関門自動車道は、**開通から50周年**を迎えます。

西暦	和暦	月	あゆみ
1944	昭和19	8	関門鉄道トンネル開通
1958	昭和33	3	関門国道トンネル開通
1962	昭和37	9	若戸大橋開通
1963	昭和38	2	北九州市が5市合併により政令市として発足
1973	昭和48	11	関門自動車道開通(めかりPA・壇之浦PA同時供用)
1975	昭和50	3	新関門トンネル開通により山陽新幹線が全線開通
1981	昭和56	10	宮崎自動車道全線開通(都城IC-宮崎IC間開通)
1981	昭和56	11	大分国際車いすマラソンがはじまる
1983	昭和58	3	中国自動車道全線開通(鹿野IC-千代田IC開通)
1988	昭和63	3	九州自動車道(小倉東IC-八幡IC間開通) 福岡～関西が高速道路で直結
1989	平成元	11	第9回熱気球世界選手権が佐賀で開催
1990	平成2	11	雲仙・普賢岳、200年ぶりに噴火
1995	平成7	7	九州自動車道全線開通(人吉IC-えびのIC間開通) 青森～鹿児島・宮崎間が高速道路で直結
1996	平成8	11	大分自動車道全線開通(大分IC-大分米良IC間開通)
1997	平成9	12	山陽自動車道全線開通(三木小野IC-山陽姫路東IC開通)
2001	平成13	7	第9回世界水泳選手権大会が福岡で開催
2004	平成16	3	長崎自動車道全線開通(長崎多良見IC-長崎IC間開通)
2005	平成17	2	下関市が特例市に指定される
2005	平成17	3	福岡西方沖地震発生
2011	平成23	3	九州新幹線が全線開通
2016	平成28	4	東九州自動車道 北九州～宮崎が開通
2016	平成28	4	熊本県でM7.3の大地震が発生
2017	平成29	7	九州北部豪雨、福岡県、大分県で多大な被害
2023	令和5	11	関門自動車道開通50周年

1958年 関門トンネル開通



写真：NEXCO西日本

1973年 関門自動車道開通



写真：NEXCO西日本

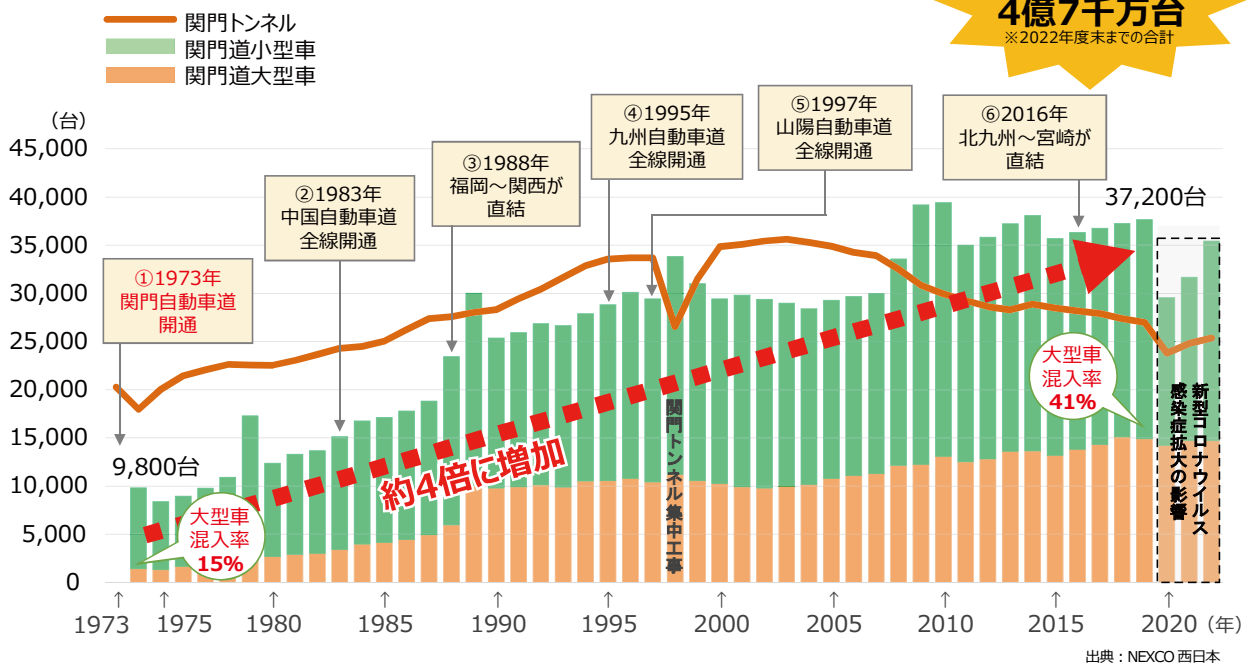


写真：NEXCO西日本

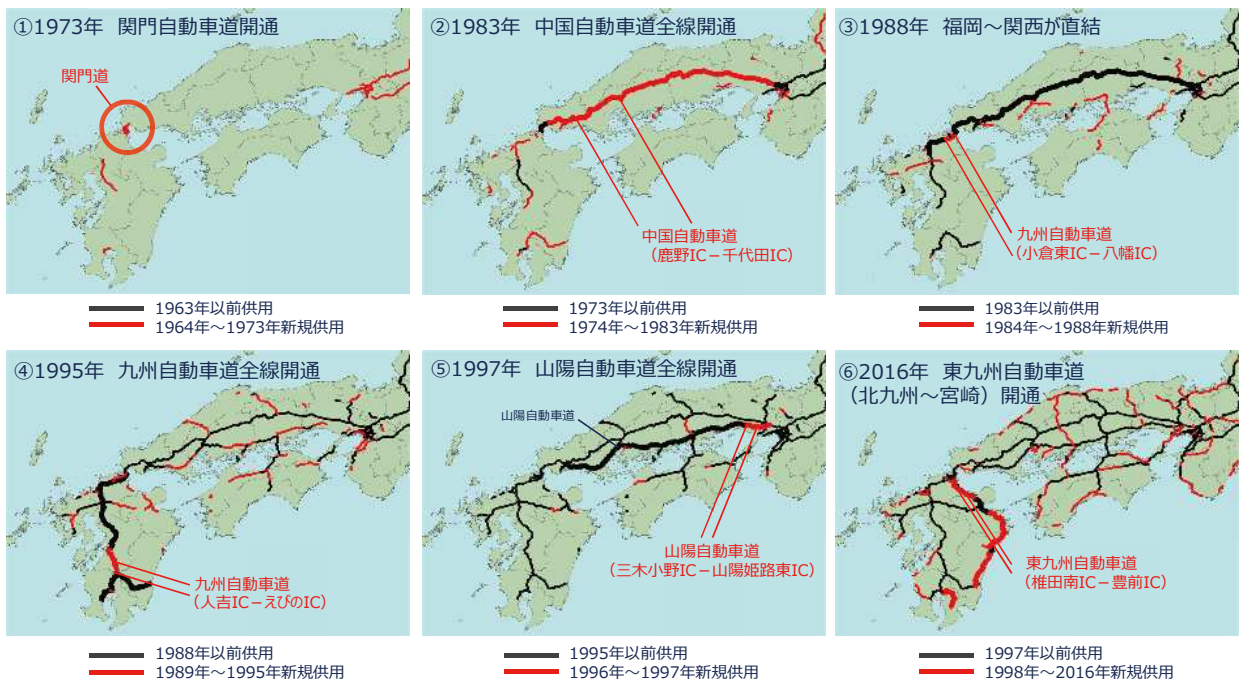
交通動向の変化 ～ 九州と本州を結ぶ 関門道 ～

- 関門道の利用交通量は開通から50年間で**約4倍**に増加しました。
- 関門道は大型車利用が多く、**本州と九州を結ぶ貨物輸送**を支援しています。
- 高速道路の整備が進み、関門道は**国土軸**として九州を支える主要な交通手段といえます。

■ 関門道 車両別一日平均通行台数



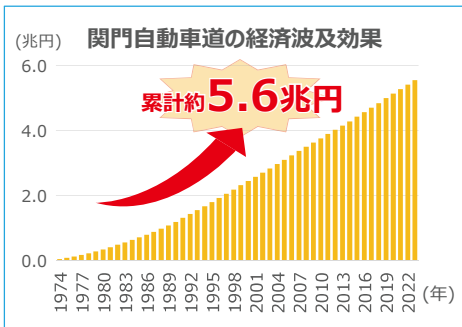
■ 高速道路ネットワークの変遷



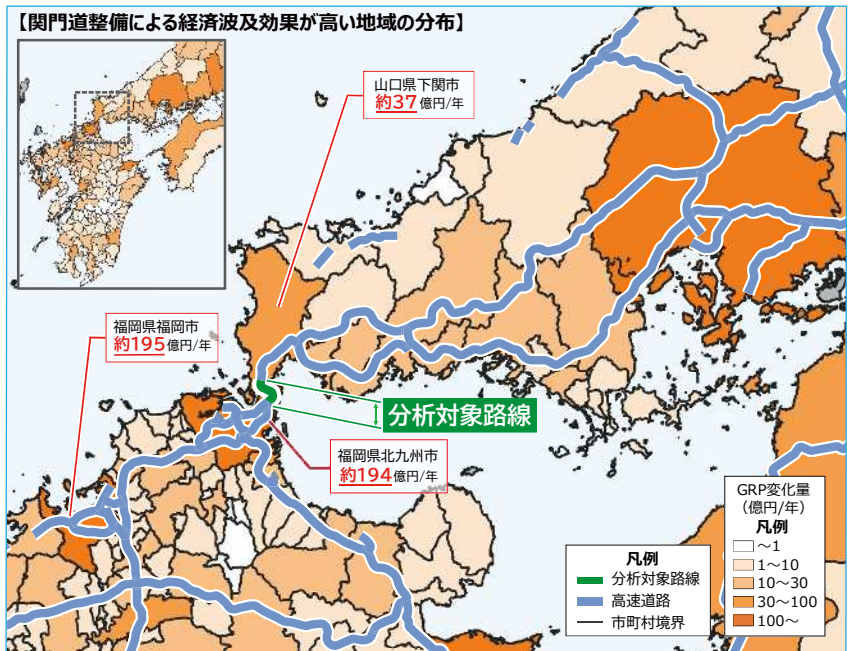
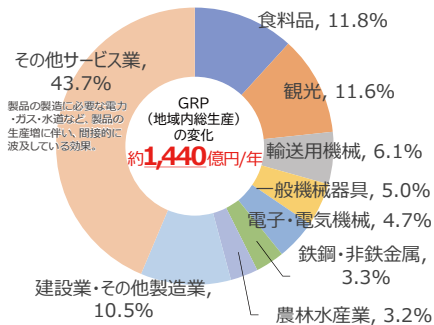
～ 九州の産業を支える関門道 ～

- 関門道の整備による経済波及効果は、**50年間で約5.6兆円**になります。
- 関門道の開通により九州と本州を行きかう自動車による貨物流動量が**約5倍**に増加しました。
- 九州と本州の貨物輸送が鉄道から**自動車(トラック)**にシフトしました。
- 九州7県の製造品出荷額は50年で**約3倍**に増加しました。

■ 関門道整備による経済波及効果



【関門道整備による業種ごとの経済波及効果】
(2019年の社会経済状況より算出)



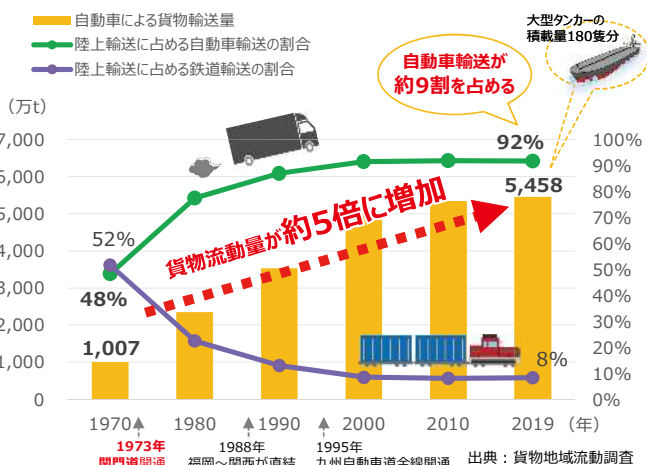
※図面に表示しているネットワークは国土数値情報高速道路時系列データ(2020年12月31日時点)。
※SCGE(空間的応用一般均衡)モデルにより、2019年の社会経済状況を基準に関門自動車道あり/なしの場合の社会経済状況を推計し、GRPの差を経済波及効果として計測。ただし、建設業、その他サービス業については、道路整備による輸送費の削減に伴う生産増加は無いものとし、製造業等の生産が増えることによって間接的に生産が増える現象のみを対象としている。

過去5年間における関門橋の通行止めは**約2回/年**。
仮に通行止めとなった場合、1日当たりの経済損失額は**約4億円**と推定される※

※2019年の社会経済状況より算出

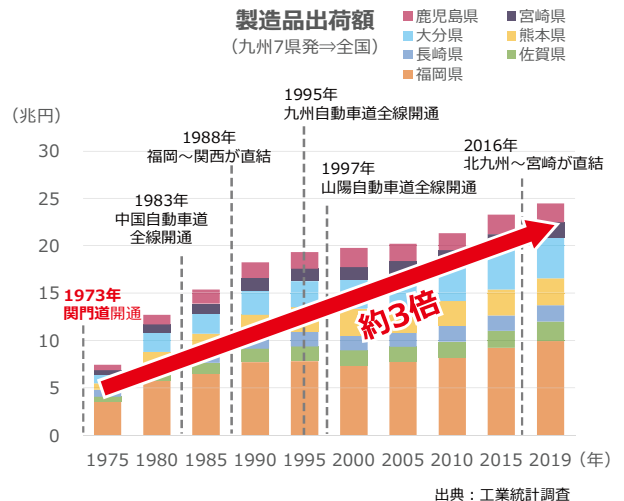
■ 高速道路網を生かした貨物の動き

自動車による貨物流動量の推移 (九州7県発着⇄本州)



製造品出荷額

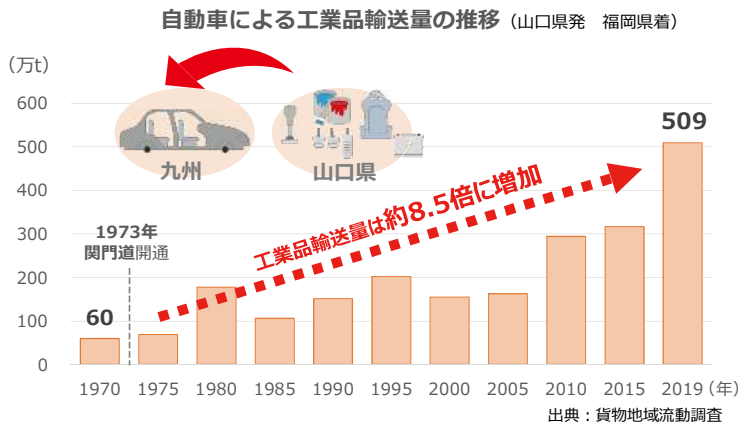
(九州7県発→全国)



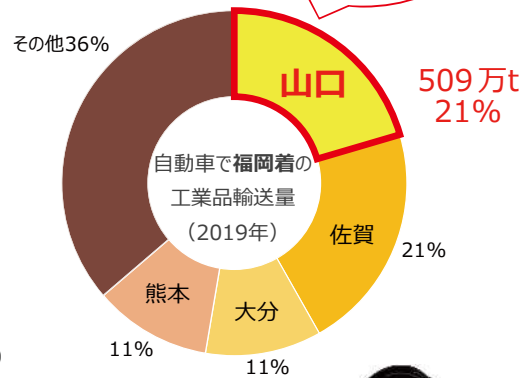
地域生産活動の変化と流通利便性の向上 ～ 関門海峡でつながるサプライチェーン ～

- 福岡県は自動車組立工場が立地する自動車産業の一大拠点となっています。
- 山口県発福岡県着の自動車による工業品輸送量は、50年で約**8.5倍**に増加しました。
- 関門自動車道が**サプライチェーンの一翼を担う**ことにより、山口県・福岡県の製造業の発展に大きく貢献しています。

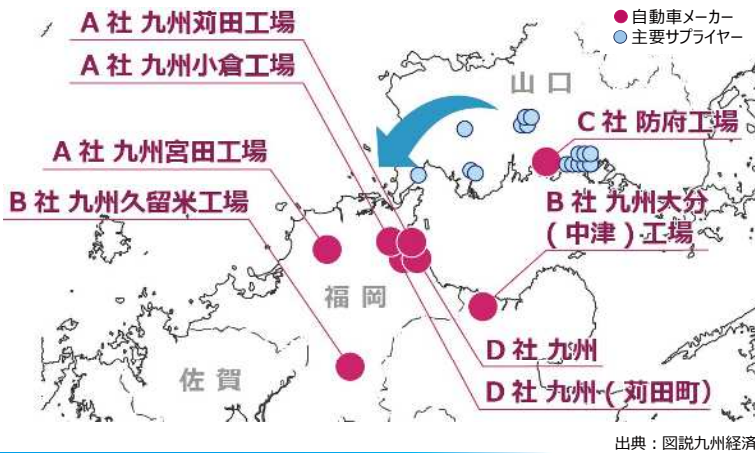
■自動車による工業品輸送量は年々増加



山口発が
2割を占める



■九州・山口の主な自動車工場及び主要サプライヤー



【自治体コメント】
山口県は高速道路での九州への交通が便利です。本県に進出いただいた企業の中には、関門道を含む高速道路網の高い物流効率を背景に進出を決定したとお声もいただいています。
山口県 産業労働部 企業立地推進課

■関門道を利用する部品輸送の動き



写真提供：日産自動車九州株式会社

【自動車会社コメント】
山口県内のサプライヤーから九州の工場への輸送手段は、ほとんどが自動車によるものです。そのうち8割は関門道を利用しています。



関門トンネルと比較して関門道は、渋滞が少なく時間が読みやすいので、生産量調整のために臨時輸送を行う時は、特に関門道を利用する機会が多くなっています。

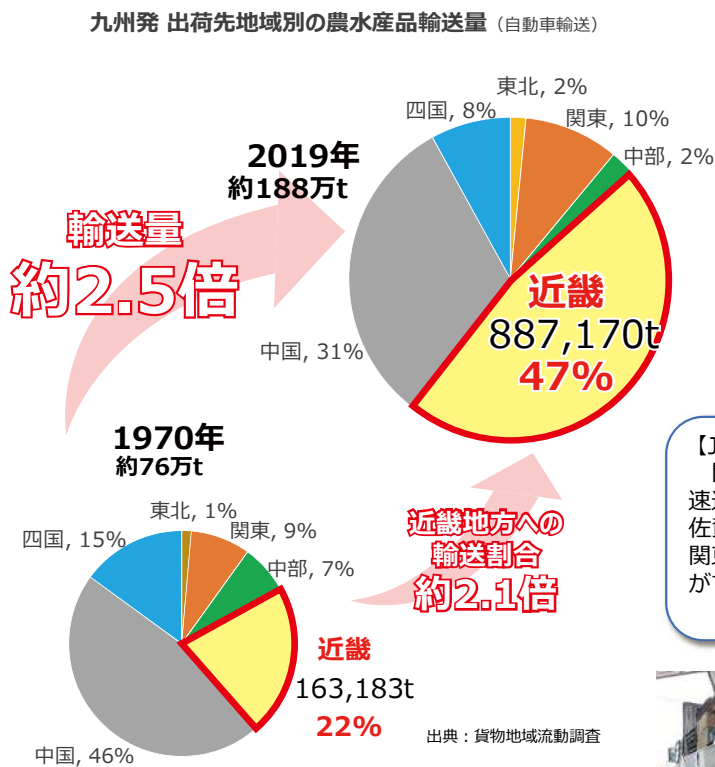


資料：ETC2.0フローデータ (2021年)

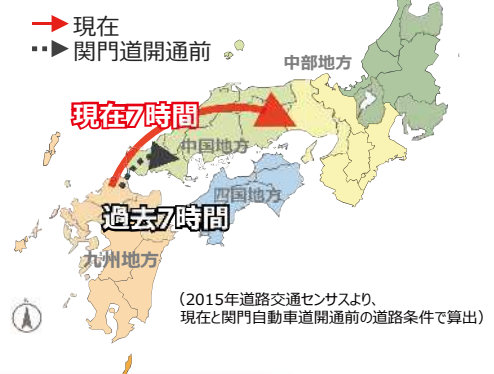
地域生産活動の変化と流通利便性の向上 ～ 九州の農産物が海を渡る ～

- 関門道の整備により、**鮮度を保ったまま遠方への輸送が可能**となり、九州発の自動車による農水産品輸送量は50年間で**約2.5倍**に増加しました。
- 九州4県のいちごは全国シェアの1割から3割へ**約3倍に拡大**しました。
- 九州4県で生産されるいちごの卸売数量は、**大阪市場において大幅に増加**しました。

■ 自動車で運ばれる農水産物の出荷先



約7時間で到達できる場所



【JAコメント】

関門道を利用することにより、速達性・定時制が高くなることで佐賀県産の新鮮ないちごを遠方の関東・関西地方の消費地にお届けができるようになりました。
JAさが園芸部

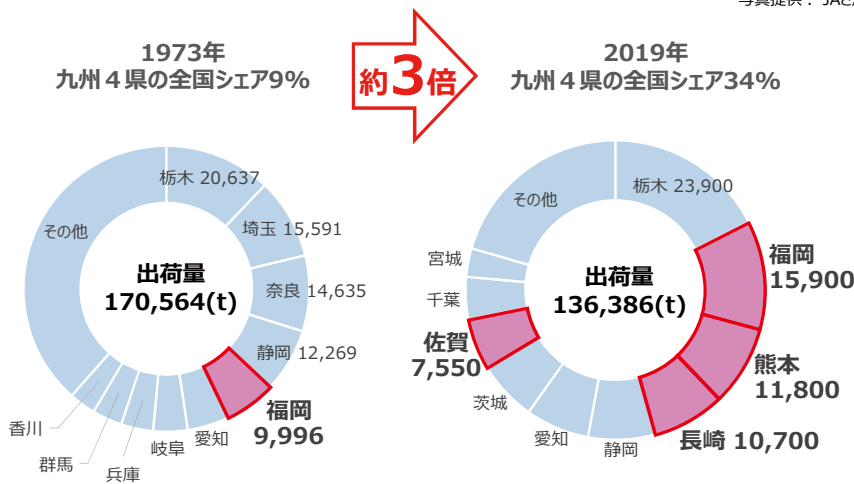


写真提供：JAさが園芸部

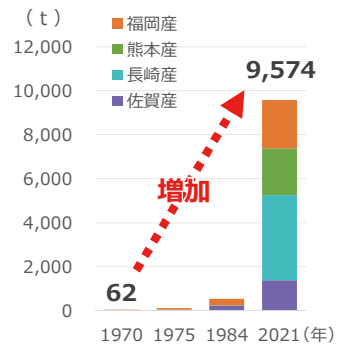


写真提供：JA全農ふくけん園芸部

■ いちごの都道府県別出荷量



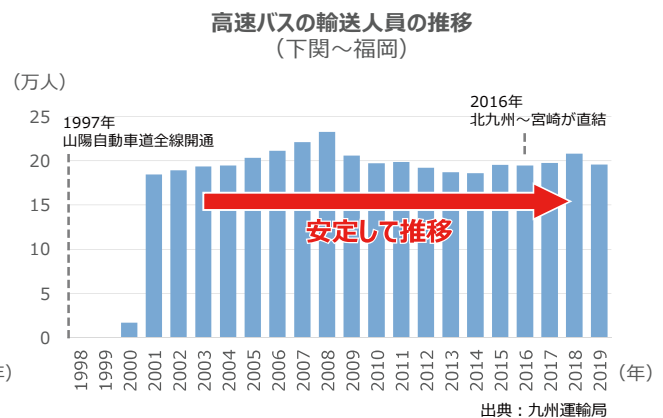
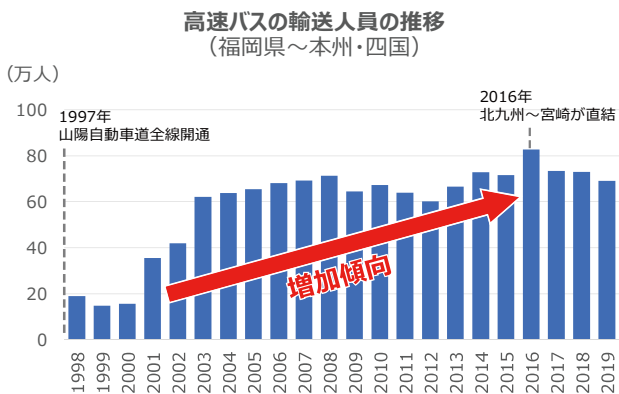
大阪市場における九州産いちごの卸売数量



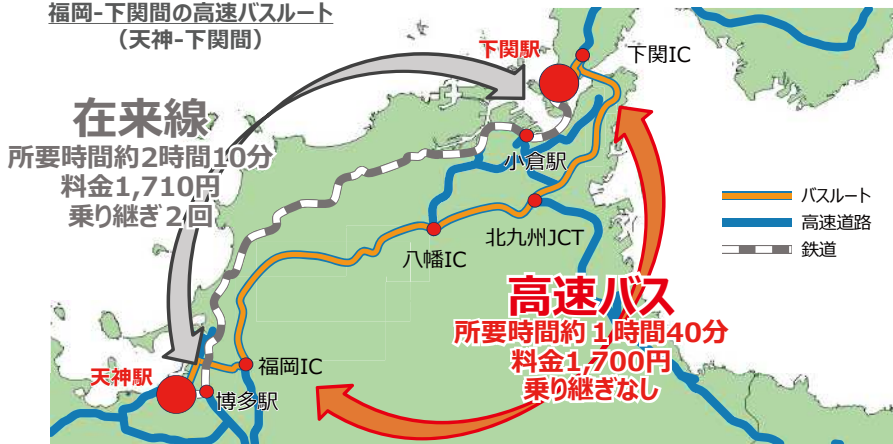
所要時間の変化 ～ 生活圏の拡大 ～

- 福岡と本州・四国を結ぶ高速バス路線の利用者数は**増加傾向**にあります。
- 中でも下関から福岡を結ぶバスは多くの人に利用されています。
- 下関市は他市町村へ通勤・通学する人の**約4割が北九州市へ通勤**しており、関門道は関門トンネルと一体で生活圏の拡大に貢献しています。

■ 人々の生活で活躍する高速バス



福岡-下関間の高速バスルート
(天神-下関間)



【バス会社コメント】

関門道の開通により、運行効率の向上を図ることができ、現在まで九州と本州を結ぶ路線を運行することができております。

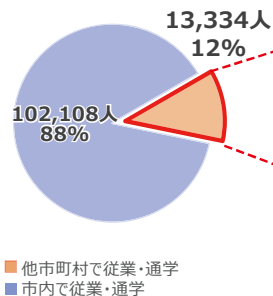
また、本州の魅力あふれる町を観光していただくため、2022年には福岡と山口県長門市を結ぶ高速バス路線を新設しました。

長門市・元乃隅神社

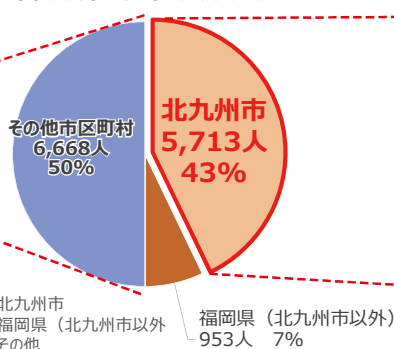


■ 下関市から北九州市へ通勤・通学

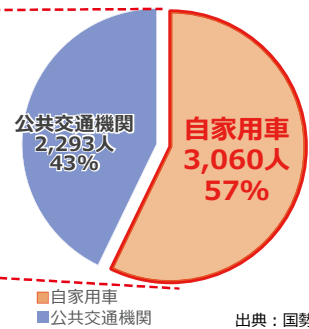
下関市住民の従業地・通学地別
通勤者・通学者数



下関市外の従業地・通学地



交通機関別就業者・通学者数
(下関市から北九州市)



出典：国勢調査 (2020年)

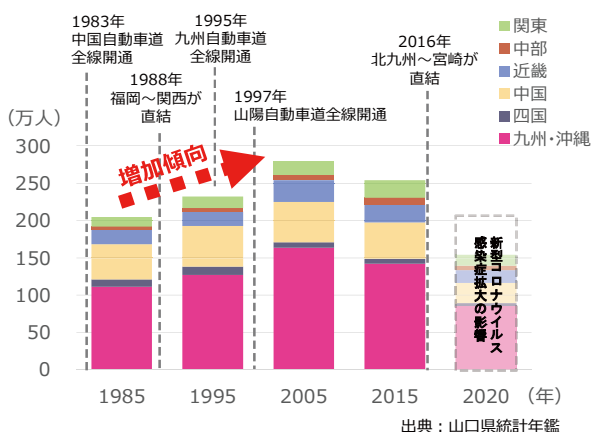
地域観光の活性化

～ 関門地域における地域観光の活性化 ～

- 関門橋は山口・福岡県を代表する**観光資源の一つ**となっています。
- 下関市への観光客数は増加傾向にあり、中でも**約5割**が九州から訪れています。
- 北九州市へはコロナ禍前までの10年で**外国人の観光客数が急増**しています。

■ 関門地域における観光客数が増加

下関市を訪れる地方別県外観光客数の推移



【自治体コメント】

関門橋は、本州と九州を結ぶ交通の重要な結節点であるだけでなく、関門橋の美しい景観を楽しむ観光名所としても、地域の観光産業に貢献しています。
山口県観光スポーツ文化部
観光プロモーション推進室



■ 下関市と北九州市の主な観光名所



高速自動車道

写真提供：山口県観光連盟（厳流島・海響館）
北九州市情報発信強化委員会
（関門海峡ミュージアム・九州鉄道記念館）



F212 日帰り 下関会場

第36回 関門海峡花火大会

最少催行人員：20名様 添乗員：同行

資料提供：西鉄旅行株式会社



【旅行会社コメント】

めかりPAは福岡発ツアーの最初の休憩地としてよく利用させて頂いております。景色が良いので撮影スポットとしてお客様にご満足いただいております。



写真：NEXCO西日本

救急救命時における関門道の貢献

～ 海峡を越えた救急救命体制の拡大 ～

- 救急救命の緊急時**には、海峡を越えて患者を搬送するなど、関門道は関門トンネルと一体で地域の医療を支えています。
- 下関市から北九州市の高度医療機関(小倉記念病院)へ搬送する場合、関門道を利用することにより**搬送時間が短縮**され、**救急救命活動に貢献**しています。

■ 下関と北九州の救命体制の一体化

第二次医療・第三次医療病院数

	二次救急医療病院	三次救急医療病院
下関市	4	1
北九州市	21	2

出典：第7次山口県保健医療計画2018
福岡県保健医療計画2022

【消防コメント】

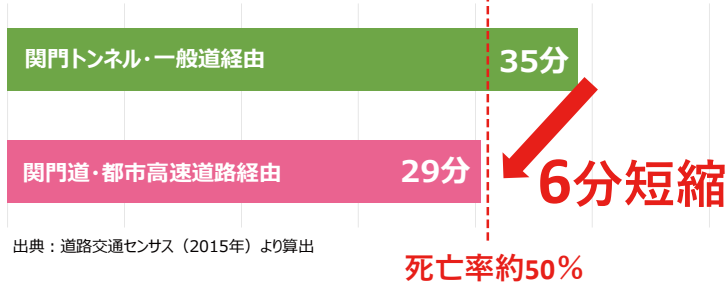
下関在住の方で、北九州の病院を「かかりつけ医」としている方もおり、救急搬送時にもかかりつけ医の病院へ搬送を行うこともあります。

下関市消防局



■ 救急救命を支える高速道路

下関市役所から小倉記念病院の所要時間比較 (昼間12時間)

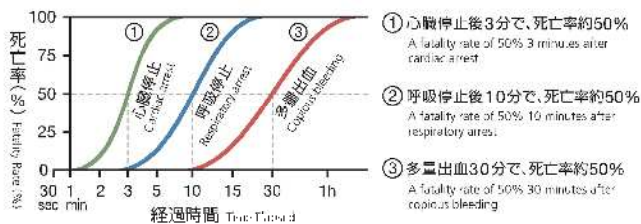


出典：道路交通センサス(2015年)より算出

【海峡を越えた搬送事例】



カーラーの救命曲線



出典：総務省消防庁

【消防コメント】

下関市と北九州市は「消防相互応援協定書」を締結しており、災害などの有事に備えています。

災害の現場に一刻も早く駆け付けるために、関門道はなくてはならない道路です。

下関市消防局

